

THE DROP : Urban Art Infill

ザ・ドロップ：アーバン・アート・インフィル

Website: thedropyc.org

<プロジェクトの概要>

ザ・ドロップはボランティア運営による、『環境』をメインのテーマとした、パブリック参加型のアート・イベントです。

メインのイベントとして、キュレーターによる、アート展覧会『2012+』が開催されます。

オノヨーコさん、坂本龍一さん、ポール・ミラー (A.K.A.DJスプーキー) を含む、コンテンポラリーアーティスト24名の展覧会が8000sfの巨大室内展示で行われます。この展覧会には、観客の参加を促す、オノヨーコさんの作品、“WishTree”が展示され、押井守さんの映像作品、“東京スキャナー”が展示されます。そして今回、坂本龍一さんが展覧会の為に特別に作成された、サウンドインスタレーション“Glacier”は、坂本龍一さんの音楽と環境問題への活動と共に、新しい芸術の形の可能性として紹介されます。

その他の日本人参加アーティストは、秋好恩、砂入博史、播磨みどり。

そして、ストリート・アート・パフォーマンスとオープニング・パーティーが、10/3同時にニューヨーク市の25丁目の11番街のハイライン下で行われます。オープニングには、大規模な公共でのパフォーマンス・アート（壁画プロジェクト）や音楽、スケートパフォーマンス等がストリート・パフォーマンス／オープニングパーティーとしてハイライン下（25thストリートの11thアベニュー）同時開催されます。「ザ・ドロップ」はこうした一連の計画された屋内と屋外のアートプロジェクトであり、音楽、ファッション展示などを通して、アーティストと観客が交じり合い、ニューヨークの地域社会の参加、対話をつくることを目的としています。

イベントの開催日は2009年10月3日（土）、メインのギャラリー展覧会『2012+』の会期は、オープニングより2週間続きます。

特別VIPオープニング・パーティーご招待：

参加アーティスト、スポンサー、メディア関係、NYアート業界、著名クリティック、コレクターを集めた特別VIPオープニング・パーティーが、10/3の6-9PMに展示会場にて開催されます。（KYOTOFU等のスポンサーからのケータール、そしてドリンク、グディーバッグが含まれます。）

こちらのチケットはウェブ上、thedroptnyc.orgのリンク、“SUPPORT”から購入する事が出来、一般の方も入場する事ができます。この環境に関する展覧会へのご寄付はウェブ上から出来る様になっており、寄付された方のお名前はウェブ上や展覧会会場に掲載されます。坂本龍一さんのサイン入りCDや、日本行き航空券、VIPご招待券等が当たる数々の特典があります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。ウェブサイト：thedroptnyc.org

このイベント、「ザ・ドロップ」は、デザイナーや建築家、キュレーターのチームが、チェルシーの開発者たちと共に新しいユートピア空間をニューヨーク市内につくる、アーティストやオーガナイザーとのコラボレーションであり、このイベントを通じて都市やグローバルな環境問題を同時にローカルに考慮することで、都市住民や地域社会への参加、団結を呼びかけるものです。

ザ・ドロップ展示会の開催日時と開催地。

1. キュレーターによるギャラリー特別展示「2012+」展

THE DROP: Exhibition 2012+

展覧会会期：2009年10月3日（土）-10月17日（土）

場所：521 West 25th Street 4th Floor Gallery

（4000スクエア・フィートのギャラリー展示スペース。）

キュレーター：Alexandra Chang & Mie Iwatsuki (岩月美江)

Associate curator Adrienne Lei

**Exhibition installation design by Ceren Bingol
Title design by Jonathan Lo**

参加アーティスト

Yoko Ono

Ryuichi Sakamoto

Paul D. Miller

Mamoru Oshii

ON Megumi Akiyoshi

John Ahearn

Rainer Ganahl

Louis Mallo

Chen Ching-Yao

Ali Hossaini

Jing Ai

Nayia Frangouli

Raquel Rabinovich

Julian Montague

Julia Chiang

Mary Ting

Adrian Kondratowicz

Peter Garfield

Sungmi Lee

Robert Peretti

Mimmo Roselli

Seth Carnes

Manuel Acevedo

Fred Fleisher and Marguerite Day

Saya Woolfalk

Zhou Yi

Hiroshi Sunairi

Ula Einstein

Midori Harima

展覧会、「2012+」は、マヤ文明の暦が2012年で終わっている事、また京都議定書がフェース・アウトされる年でもある事から、現在の国際的な経済不況、深刻化する地球温暖化の現実に結びつけられる、その節目に迫る危機の感覚、そしてまた、地球環境と都市の未来に何か新しい事が起こる予感を表しています。また、この展覧会は、公共参加型のアート・プロジェクト「ザ・ドロップ」の開催と同時に行われる中で、グローバルな社会へ反映されるであろう、ローカルでの個々の私たちの未来の環境と都市への考察への参加を強調しています。

展覧会の「+」というシンボルはその私達の未来の可能性がどういったものであるか、という熟考を促します。

展覧会は『2012+』は都市を拠点とする芸術家と都市の居住者の関係を近郊に調査し、都市からグローバルなレベルへの環境との関係で、自分たちをどう位置づけさせるのかを、問題提起しています。

展覧会オープニング日時：

10月3日(土) 12:00 pm – 9:00 pm

521W 25th Street 4th Gallery Floor

VIP PARTY 特別VIPパーティー：

10月3日(土) 6:00 pm – 9:00 pm

521W 25th Street 4th Gallery Floor

(チケットはウェブサイトにて購入できます。)

2. ストリートフェア：

25丁目の11th Avenue ハイラインの下。

2009年10月3日(土) 12:00 pm – 5:00 pm

ART FOR PROGRESS

ヤングファッション・デザイナーによるファッション・インスタレーション

ストリートフェアのオープニングパーティー：

2009年10月3日(土) 5:00 pm – 9:00 pm (18+)

ライブ・ペインティング・パフォーマンス Chris Mendoza & Yuri Shimojo
(Barnstormers), Pablo Power
Jason Woodside & Marco Raab

ミュージック
Truth and Soul & Halcyon DJ team
on SolarOne's solar powered DJ booth

クロージング・パーティー／アーティスト・トーク
Pecha Kucha
2009年10月17日(土) 511 West 25th Street Rooftop

Pecha Kucha NYC presents the 2012+ artists talk and Exhibition
Closing party (time TBA)

スポンサー

Lead Sponsor: Cardinal Investments

Associate sponsor:

Sumitomo Real Estate Sales(住友不動産販売NY),

**Continental Airlines, Bearlao, David Babaii for WildAid, Bear
Flag Wines, Ito En, IZZE.**

Supported by:

**SHoP Architects, Six by Six Gallery, Seeds for Change, The Japan
Foundation, Pechakucka ,HighlineOpenStudio, Halcyon, 606 Gallery,
Solar One, VOOS Furniture, Areaware, Art for Progress, Kyotofu.**

Media Sponsor: Village Voice Flavorpill, ArtWeLove.

Special Thank you: GOTHAM GARDEN.

**The Drop NYC is brought to you by Jonathon Lo, Noah Riley, Ceren
Bingol, Marco Raab, Alexandra Chang and Mie Iwatsuki.**